

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 24日

事業所名 山形地域福祉事業所陽だまりクラブ

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|----|--|----|---------------|-----|---|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | 複数ある部屋を生かし内容に応じて、分かれて活動しています。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | 国が定めている基準よりも多い職員を配置しています。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | ○ | | | 必要に応じて対応をしていきます。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | | 毎週の朝礼、週1回の全体ミーティングなどを通して、課題や気づきを共有し、支援に生かしています。 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | 必要に応じてアンケートの実施をしています。 | 保護者の方の意見を取り入れ、来年度に向けた事業計画を作成していきます。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | 法人ホームページ、事業所SNS、事業所掲示板に掲載しています。保護者一人一人に配布しています。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | | 第三者委員の人数、評価基準や第三者委員会のあり方について検討をしていきたいと思っています。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | WEBの研修を中心として、内部・外部問わず、幅広い職員が参加をし、質の向上に努めています。 | |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | | アセスメントや、モニタリングシートの変更点については、色分けを行い、視覚的に分かりやすいように工夫していきます。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | | 事業所として統一されたアセスメント様式を使用しています。 | 必要やニーズに応じて、内容の検討をしています。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | | ミーティングや支援前の打ち合わせを通して、チーム支援を心掛けています。工夫をしながら、もっと細やかな打ち合わせを行い、より良い対応を目指していきます。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | | 子どもの特性に合わせながら、対応をしていきます。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | | ふわり、ぼかぼかの合同の活動について、職員で検討をしながら実施をしています。 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | | 子どもの特性に合わせた個別活動の立案を職員で検討していき、子ども達の選択欲を増やしていきます。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | | | 振り返り記録やケース記録用紙についても、実態に合わせてながら、修正し対応していきます。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | | 記録のあり方、取り方についての研修も実施し、職員間で徹底していきます。 |

| | | | | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|-------------------------------------|--|---|--|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 状況に応じて、3ヵ月に一回モニタリングを実施しています。 | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている | | ○ | | | ガイドライン読み合わせを1回全体ミーティングにて実施し、理解を深めています。 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している | ○ | | | 責任者だけでなく、指導員として直接支援をしている職員も参加しています。 | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | | 行事予定を預けて、連絡調整を行っています。 | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | | | | 利用されていません。 | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | | ○ | | | 必要に応じて、情報の共有をしています。 | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | | | 必要に応じて、情報の共有をしています。学校主催の支援会議にも参加しています。 | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | | 療育センターの職員の方を講師に、WEBの研修を実施いたしました。 | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | | ○ | | コロナ禍で実施できておりません。 | コロナが落ち着き次第、検討していきたいと思います。 | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | ○ | | | | WEBにて、協議会への参加をしています。 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | | ○ | | | ペアレント・トレーニングの研修に職員が参加し、職員自身が知識を身につけていき、保護者の方に対して研修を実施できるように検討していきます。引き続き、別主体で行われているペアレント・トレーニング研修の周知を行っていきます。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | | | 契約の際に、時間をかけて説明を行っています。変更の際は、その都度書面と共に説明を行っています。 | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | | | お迎え時やモニタリング時にお話をしています。 | コロナ状況をみて、保護者同士が集まる機会を企画していきながら、保護者の方が相談しやすい環境を作っていきます。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | | | | 保護者交流会を12月に実施しました。 | コロナ状況をみて、お祭り・保護者交流会などを企画し、保護者同士の交流の機会を増やしていきたいです。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | | | | 目安箱についても、通信、Facebookなどで周知をしていき、皆様を活用して頂けるように努めています。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | | | | 月1回隔日通信を発行しています。Facebookにて随時発信をしています。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | | | | 顔付き書庫を活用し、個人情報等には十分に留意しています。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|---|--|
| 非常時等の対応 | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 絵カード、写真、手話などで視覚的支援をしています。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている | ○ | | | 地域の方にご協力頂き、スタンプラリー、ハロウィンなどで地域をまわったり、事業所の活動で、地域のボランティアの方が入って運営を行っています。 | |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | | | 保護者交流会などで資料をお渡しし、説明と周知を行っています。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | | 年4回避難訓練をしています。今後検討しながら訓練の回数を増やしていきます。様々な状況に合わせた内容の訓練を行っています。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 随時研修を行い、虐待防止に努めています。 | マニュアルなどの見直しをし、虐待防止に努めています。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | ○ | 現在、該当する児童はおりません。状況に応じて対応をしていきます。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | 該当の児童に対しては指示書を頂いて、対応を逐めています。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | | その都度記録用紙を記入して、職員間で共有をし、対応を検討している。そのファイルにも照じて再発防止に努めています。 |